

# Desert Wind (No.17)

Las Vegas Japanese Community Church

APRIL 2008

『わたしは荒野に道を設け、さばくに川を流れさせる』(イザヤ 43:19)

編集：平山未樹

『夢の実現に生きよう』

LJVCC 牧師 鶴田健次

夢を持つことは素晴らしいことですね。私の人生には必ず良いことがある。霊的に成長し、仕事も祝福され、素晴らしい実を結ぶ人生を生きる。問題は去り、苦痛は和らぎ、神様の祝福が必ず訪れる...。そんな夢と希望をぜひ持ちたいものです。箴言 29:18 は、キング・ジェームズ訳の日本語訳では、『幻のない民は滅びる』となります。それは言い換えると、夢があってこそ栄えるということです。

創世記の 13 章で、神はアブラハムに、あなたが見渡したその地を、あなたとあなたの子孫とに与える、と言われました。手に入れる前に、先ず見なさい。あなたの物になる前に、まず夢を見なさい、そういう意味にも取れます。神はアブラハムに、確かな夢を持って、それを見ながら前進するようにという、夢実現の方法を教えてらっしゃるのです。

さて、皆さんはどんな夢をお持ちですか？仕事の夢、結婚の夢、色んな問題解決の夢、自己改革の夢、あるいは神の良き働き人になる夢など、色んな夢があることでしょう。そこで今回は、夢が実現するための三つの鍵についてお話したいと思います。

まず夢が実現するための第一の鍵は、聖霊の導きに従順であることです。使徒行伝 2:17 の前半を見ると、「神がこう仰せになる。終りの時には、わたし

の霊をすべての人に注ごう。」とされていますが、神は、この時代のすべてのクリスチャンに、神の霊、つまり聖霊を注ぐと約束しておられます。この聖霊は、私たちの助け主として、私たちに最善の導きを与える神ご自身です。ですから、今の時代に生きるクリスチャンにとって一番大切なことは、聖霊の導きに従順であるということです。エジプトを脱出したイスラエルの民が、約束の地に向かって 40 年の荒野の旅をしているとき、神は、昼は雲の柱、夜は火の柱となって彼らを導かれました。この導きがなければ、彼らは約束の地に足を踏み入れることはできませんでした。私たちの夢に向かって進む人生にも様々な荒野があり、先が見えなくなることがあります。そんなとき、聖霊に祈り求めるなら、聖霊は必ず最善の道を私たちに示して下さいます。そして、その導きに従うなら、聖霊ご自身がその夢の実現へと私たちを導かれるのです。

次に、夢が実現するための第二の鍵は、生活の順序を間違わないことです。私たちは、先にすべきことと、後にすべきことを正しく知らなければなりません。後にすべきことを先にし、先にすべきことを後にするとしたら、必ず信仰生活に混乱が生じ、人生そのものが混乱してしまいます。マタイの福音書 6 章 33 節で、イエスは、「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて添えて与えられるであろう。」とおっしゃいました。

つまり、生活の順序を正しくしたら、人生のすべての必要は必ず備えられると言われたのです。最初のボタンを正しくかければ、最後までボタンを正しくかけられますが、最初のボタンをかけ違えれば、最後までボタンが正しくかけられず、洋服の格好がおかしくなってしまいます。それと同じように、順序を正しく決めて毎日の生活をしなければ、人生もおかしくなるのです。

最後に、夢が実現するための第三の鍵は、人生を肯定的に見つめることです。暗く、否定的なものを見つめる人は、その暗い勢力に囚われてしまいます。サタンに支配されたこの世は、否定的なものを好みます。そうではないことを口では言いながらも、実は否定的なものを好み、否定的なもののほうに興味があるのです。その証拠に、マスコミは常に明るいことよりも暗いニュースを報道しがります。暗いニュース、大変な出来事、悲しい事件、そういうものはニュースになりますが、楽しい事や嬉しい事はあまりニュースになりません。それは、罪を持った人間には人の喜びと一緒に喜ぶという心が欠けているからです。私たちには、自分が見ているものに囚われてしまうという性質があります。ですから、私たちがいつも、「見つめる法則」を適用しながら、肯定的に見渡し、希望のある話しをすべきです。常に、希望を持って、肯定的に人生を見れば、肯定的な勢力に囚われて、その中に生き、夢が実現するのです。

証し (後半)

以津子ハバード

バプテスマを受けて間もなく、礼拝で、初めて聖書朗読をした。2005 年 1 月 9 日のこと。エペソ人への手紙 4 章 11 節から 16 説迄であった。自分の席に戻り、先生のお話を聞き、ノートを取りながら、なにげなく頁をめくって、朗読した所の先を読み始めて驚いた。何と聖書に私の事が書いてあるではないか！“酒に酔ってはいけない。それは乱行のものである。むしろ御霊に満たされて、詩と賛美と霊の歌とをもって語り合い...”(エペソ人 5 章 18 節 19 節)

実は、私が始めて酔っぱらったのは 4 才。父の晩酌をねだって飲み、急性アルコール中毒になった時である。長ずるにつれ酒量も増し、1993 年主人と早期定年退職をして Vegas に落ち着いてからは、昼間から飲んだりした。(何しろ毎日が Weekend だったから。) 所が、昔はよく飲んでいて Vern が、心臓の三方バイパスを含む度重なる動脈の手術後、医者がかまわなしいと言ったのに、自分で飲むのを止めてしまった。絶対にと禁止されていた葉巻は隠れて吸っていたので、肺気腫になり、それが命取りになってしまう。自分がお酒を止めてからの主人は私の事を目の敵にしてガミガミ言い初め、飲んでるものを流しに捨てるばかりか、まだ封を切っていない瓶を丸ごとどこかへ捨てるようになった。腹がたつので、彼が 2 本捨てると私は 4 本買って来て、ピッチをあげて飲んだので、家の中で喧嘩が絶えなかった。

エペソ人への手紙 5 章 18、19 節を読んで 2ヶ月経ったある夕方、さあ落ち着いて飲もうと思ったら家の中に飲むものが何も無い。また捨てられたので、彼が寝てしまっからお店に行こうとしたら、酔ってもないのに何故か体が動かない。車まで行けないので、お店にも行けない。仕方がないので、諦めてその日は寝たが、次の夕方もその次の日も同じ事が起こり、一週間が経ってしまう。Bible Class でその話をしたら、皆が拍手をして喜んでくださり、鶴田先生が、それは聖霊の働きだったと言われた。不思議なことがあってから、自分の意思でも力でもなく、長年のアルコール依存症が治ってしまった。

この話には余談がある。お酒を止めて数ヶ月経った頃、仲良しの Connie の結婚式に呼ばれた。

式の後、屋外で盛大なパーティーが始まり、さあ乾杯という時、一点にわかにかき曇り、突風がふいて、テーブルの上のものが全部飛んでしまった。あわてて全員が屋内に入りパーティーをやり直している間に、私は飲まないまま帰宅。神風だったと言って、Connie に当分うらまれた。

所で、私の証の前半を読まれた方は“やむなく”とか“あきらめて”とか言う言葉に気付かれた事と思う。考えてみると、自分でしたい、やりたいと思ったものがすんなりとできなかったことが多い。で、もし卒業後、古い先生方がいなくて、広島市内で英語の先生になっていたら、と考えてみた。望みどおりではあるが、只、英語だけを教えて定年を迎えて幸せだったのだろうか？ 市内に教師の口がなかったから、仕方なく岩国のペースに長年勤めることになったのだが、昼間の Office の仕事以外に、色々な事をする機会に恵まれた。まず、日米文化協会のクラスで日本語の会話を教え、岩国の大きな工場で英会話を教え、海軍病院の予防課にいた時は、資格を取って食品衛生の講義もした。メリーランド大学がベースで開いていた夜学で日本語の講師をし、その時の実績で後に California に来たとき、Community College で日本語を教えることができた。又後に、自宅のガレージを改造して始めた英語塾が大好評で、アメリカに来るので止めた時には生徒が 50 人になっていた。

それに、ベースに勤めたから主人にも出会ったし、結婚してアメリカに来たから鶴田先生にも出会い、聖書の勉強をやり直してクリスチャンになったのだ。クリスチャンになって、教会に行くようになって、何が良かったか、と聞かれると“今までの全ての罪が許され、永遠の命が与えられた事と、神の家族が出来たこと。”と私は何度も答えている。肉親を早く亡くし、晩婚で子供がなく、主人に先立たれた今の私は天蓋孤独。去年 11 月、転んで骨折して 3ヶ月不自由だった時、神の家族の皆さんが、本当に良くして下さいました。お祈り、お見舞い、食事作り、洗濯、ゴミ出し、それに、早く良くなる様にと祈りながら折った千羽鶴まで頂いた。この事は、一生忘れることは出来ない。

自分でしたい、やりたい、と思った事が出来ず違う道をとって、私が此処まで来たのは、あるいは、神の摂理であったのかと思う、今日此の頃である。

## 案内・ニュース

- ・ 去るイースターの礼拝では、小林豊兄、ひろ子 Budge 姉、佐藤静佳姉が洗礼を受けられました。神様の祝福を祈ります。
- ・ 3 月 17 日に坂東一郎・美枝子夫妻が日本から戻られました。また 4 月末に日本に行かれます。旅の安全をお祈りします。
- ・ 香織 Banks 姉とカーソン君が二ヶ月ほどの予定で日本を訪問しておられます。楽しい時が持たれますように。
- ・ 4 月 16 日～5 月 1 日まで、鶴田牧師夫妻は日本伝道旅行に出かけられます。
- ・ ユキ Meyer 姉と頼博恵姉による料理教室が始まります。この働きが、良き交わりや伝道のために用いられますように。
- ・ 鶴田潤子姉による生け花教室・茶道教室・着物の着付け教室が始まります。
- ・ 4 月 26 日は教会主催のガレージセールを教会の外で行ないます。
- ・ 5 月 4 日(日)は講壇交換で WCCC の中尾由之助牧師が礼拝のご用をして下さいます。なお鶴田牧師はオレンジ・カウンティの教会でご奉仕されます。

## DREAMS COME TRUE

- ✦ 教会堂の建設
- ✦ 敬老ホームの設立
- ✦ 幼稚園の設立